

関東蒲生会24年度 かわら版

発行:平成24年8月4日 関東蒲生会事務局 03-5282-7511
株式会社ヒューマンウェア内 幹事長 山下憲男

関東蒲生会24年度総会・懇親会に寄せて

関東蒲生会会長 満田泰啓

関東蒲生会会員の皆様、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は関東蒲生会・50周年記念大会に100余名の参加を頂き、区切りの年を盛大に締めくくりさせていただき有難うございました。

さらに11月19日には郷里「蒲生郷・ふるさと公園」の頂にて50周年記念・桜の植樹祭を「笹山市長以下地元関係者の方々に多数参加いただき」盛大にとりおこない地元の方々にも喜んでいただきました。

桜基金にご寄付いただきました会員の皆様に改めて厚く御礼申し上げます。帰省されましたら是非訪ねて見てください。関東蒲生会の記念の看板が頂上中央にあります。

桜基金の今後につきましては、先般(6月)の役員会で桜基金の継続運用が決定しており、引き続きご参加を宜しく願い申し上げます。

さて、今年の総会・懇親会はご案内の通り、10月7日(日)です。多数の方々に参加いただき、ふるさとの絆を盛り上げたく期待いたしております。お誘い併せのうえ是非ご参加頂きます様お待ちいたしております。



関東蒲生会・桜基金実績報告

平成16年に関東かもう会と故郷蒲生を繋ぐ事業として誕生しました「桜基金」、郷里での桜の植樹活動も八年を経て八箇所に150余本(一部再植樹含む)植樹して参りました。

植樹した桜はすべて4-5年もので高さ3-5メートルの苗木で、植樹翌年より開花しています。

<植樹箇所>

- ①スポーツアリーナ施設周辺と中学校境界線(八重桜)
- ②駐車場まわりとバス停道路沿い、「故郷を想う丘」(アリーナ前、川向こうの杉林の町有林を桜公園に) 関東かもう会の標識あり。
- ③中原下別府川合流点の三角公園
- ④「蒲生郷・ふるさと公園:町制施行80周年記念(H21秋)」植樹「ふるさとを想う丘」を含めて記念公園完成。
- ⑤H23・秋に関東蒲生会50周年記念植樹。公園頂上広場に関東蒲生会の植樹活動を記した標識が有ります。
- ⑥友徳橋(川東:下久徳間)の袂地
- ⑦住吉池入り口観光道路沿い
- ⑧八幡神社入り口:観光交流センター庭園:しだれ梅 (注)特記以外は「ソメイヨシノ」

以上は植樹活動実績概要ですが、活動の圧巻は当時私たちの思いを受け止めていただいた当時の厚地町長と役場の関係者、其の協力により「故郷を想う丘」が完成したことです。

これを足がかりにして完成した「蒲生郷・ふるさと公園」の完成に合わせて近畿蒲生会・名古屋蒲生会にも働きかけて三つの故郷の会が合同での80年記念植樹が実現しました。

この関東蒲生会の活動は郷里は元より周辺郷里の会でも話題となります。

ここに改めて桜基金への賛同と寄付を頂きました会員の皆様に感謝と御礼を申し上げます。

平成23年度(関東蒲生会50周年記念)活動報告

関東蒲生会幹事長 山下 憲男

1. 平成23年度の報告

23年度は関東蒲生会50周年記念大会でした。笹山市長・池田蒲生総合支所長他多数の来賓と郷里出身歌手「西田あい」とその両親もお迎えして盛大に開催されました。

50周年記念大会 日時:平成23年10月4日(土) 12:00~16:30 場所:三州倶楽部

2. 50周年記念大会スナップ

(関東蒲生会のホームページより)



ご来賓 始良市長
笹山義弘様



薩摩の歌姫
西田あいさん



みんなで踊ろう
おはら連ほか

3. 役員新年会(平成24年2月12日)

役員、23年度関東蒲生会総会のお手伝いボランティア14名で総会、懇親会の反省会と新年度の活動内容の検討、大筋の合意を行った。

4. 第一回総会準備(平成23年6月16)

総会開催のための企画、準備日程の確認、桜基金の継続、関東蒲生会会員名簿の発行ならびにこれらの費用にあてる関東蒲生会運営寄付金の募集、かわら版の発行などの決定を行う。

5. 第二回総会準備会(平成24年8月4日)予定

総会案内の準備と総会・懇親会案内状の発送

同封資料:案内状、景品案内、ふるさと納税、かわら版、寄付金振込用紙、返信用ハガキなど約400通の案内発送作業。幹事役員以外のボランティアにも期待。

6. 第三回総会準備:平成24年9月8日予定

総会当日の役割分担、総会・懇親会の運営、スケジュール、アトラクション等の確認、必要物品の手配。

7. 関東蒲生会総会・懇親会開催:平成23年10月7日(日)予定

<関東蒲生会運営寄付金のお願い>

ご承知のように関東蒲生会は年一回の総会・懇親会で会員相互の親睦と町との交流を主な役割としてまいりました。引き続き今後の運営も総会での決議に基づき続けてまいり所存でございます。

一方、今回の総会・懇親会のご案内も含めた、通信費、印刷費、会議室使用料など1年間の維持運営を総会参加者の会費の中から捻出し、不足分は有志の寄付と幹事一同のボランティアで賄っているのが実情でございます。

引き続き、関東蒲生会を充実し広くホームページなどの活用や運用など安定的に運営を行うために総会・懇親会への参加される会員の方はもとより、関東蒲生会の会員の方々から広く運営寄付金の募金を募っております。関東蒲生会の有志の方々に寄付を賜りますようお願い申し上げます。(振込用紙を同封してあります)

「姪っ子に夢中！！」

～蒲生の歌姫・西田あいさんインタビュー～

蒲生で生まれ育ち、日本全国で大活躍の「かもうの歌姫」西田あいさん。去年の関東蒲生会でも爽やかな歌声を披露していただきました。でも、みなさん！西田あいさんの魅力をどこまでご存知ですか？今回の「かわら版」はスペシャル企画として、あいさんに直撃インタビューをしました！キュートなあいさんの魅力に迫ります。



ーデビューして3年目。大きなステージもたくさん経験していますね。

あいさん：大きなステージになると大先輩ばかりです。テレビで見たことのある芸能人ばかりだあって（笑）。ステージの上で先輩達と横に並んでいて何を発言したらいいんだろうとか、粗相しないようにとか、そういう緊張感はずごくありますよ。

ーステージで歌っていて、一番うれしいことは何ですか？

あいさん：私が、皆さんの心に届けばいいなあとと思っている一曲を歌っているときに、お客さまが目を閉じてじっくりと聞いてくださったり、また聞いているうちに涙をポロっと流してくれたり・・・そういったお客さまの反応を感じるときが一番うれしいですし、楽しいです。

ー蒲生出身の方をはじめとして多くの鹿児島県人が応援していると思います。

いま、あいさんにとって「蒲生」ってどんな存在ですか？

あいさん：私にとって蒲生は“親”です。蒲生に住む人、街並み、空気、自然すべてが私の親なんです。蒲生に帰ると、どこを歩いても「あいちゃんじゃないけ？帰ってきてるの？」って声をかけてくれます。そんな身近な感じとか、小さい頃に遊んだ思い出の場所があったりして、すぐ童心に戻れます。私にとって、蒲生全体が“親”なんですね。

ーあいさんが、いま大切にしている人やものを教えてください。

あいさん：実は、4月に姪っ子が生まれました。今ちょうど2か月がたったんですけど、かわいくて、かわいくて…。ぬいぐるみじゃないの？って思うくらいかわいいんです。大切なファンがひとり増えました。また、蒲生に帰ると実家に手紙が来ていることがあるんです。「僕は西田あいちゃんのファンです。学校で西田あいちゃんごっこをしています」とか、中学生からは「私のおばあちゃんの家が蒲生にあるから蒲生によく行きます。

蒲生出身のあいちゃんが誇りです」って書いてあって、ちびっ子たちの手紙が私の大切な宝物です。私が歌うことで「蒲生はいいところなんだよって、こんなお姉ちゃんも出ているんだよ」っていうことが伝わって、蒲生のちびっ子たちの自信に繋がればうれしいなあと考えています。

ーあいさんの夢は何ですか

あいさん：サッカー日本代表の国際試合で、試合前に国歌を歌うということです。サッカーファンとしても歌手としても、その場に立てるのはとても栄誉なことだと思うんです。いまは「よしっ！10年以内に叶えてやろう」という意気込みで夢に向かっていきます。

ー多くのファンがいる、関東蒲生会の方々へひとことお願いします。

あいさん：いつも応援していただいてありがとうございます。蒲生出身者としては一番後輩ですので、先輩の方々にもいろいろなことを教えてもらいながら蒲生・始良のために鹿児島を盛り立てていきたいと思っています。

将来は蒲生の大楠のように、みんなから注目されるBIGな歌手になるよう頑張ります。

今回蒲生会に参加できなくなり残念です。来年を楽しみに頑張ります。

引き続き応援をよろしくお願いします。

（後記）

歌手活動だけでなく、リポーターやグラビア、ラジオのパーソナリティーなど様々な分野で活躍中の西田あいさん。あいさんが語るキュートな鹿児島弁は日本全国に浸透中で多くのファンを魅了しています。

今回のインタビューも終始鹿児島弁で盛り上がりました。その雰囲気を読面に反映できないのがちょっと残念です。（インタビュー：2012年6月 湯元敏浩）



湯元幹事

西田あいさん

満田会長

関東蒲生会に「いっどどま・来てみやんせ！」

関東蒲生会副会長 久富木 文子

故郷、蒲生を離れて関東の地へ移り住んでからのどの位の月日がたちましたか？
その間に定期的にあるいは偶に家族や親戚、友人に会いに、子供時代に駆け巡った古さとの山や川に元気をもらいに里帰りされている方もあれば、もう何年も帰っていないなあという方もあるかと思います。
故郷は、遠きにありて想うものでしょうか？ 一度、関東蒲生会で故郷に帰った気分を味わってみませんか？



参加していただいた会員の皆さまに「今日は楽しかった！又、来年も来っど！」と言ってもらえる会にしたいと、役員、幹事全員が知恵を絞って大会開催の準備に汗をかいています。
どうぞ、来る10月7日(日)は、いままで不参加だった方も、「いっどどま・来てみやんせ！」

関東蒲生会ホームページのご紹介 蒲生会ドット混む(kamoukai.com)

関東蒲生会事務局長 北原 源平

今年は93歳で亡くなった母親の初盆で帰省します。「盆に帰るのは暑いし切符も高いしねえ。」そんなわけで、お盆の時期に帰るのは本当に久しぶりのことです。それと蒲生中の昭和38年卒業(38会)の65歳の同窓会があり10日間程の帰省期間となります。ついでに「てこおどい」も観たいなあと思いましたが、開催日とその後だと聞き残念でした。伝統的なこの催しを伝承されている各地区の皆さんに感謝申し上げつつ「てこおどい」見物は、来年以降の楽しみにとっておきたいと思います。「馬踊り」も「六月燈」も懐かしいです。

同窓会は還暦の時以来5年ぶりで、また更に若返った気分の面々に会うことができそうで楽しみにしています。10月の総会・懇親会のために土産話をしっかりと仕込んで参ります。

皆さんも是非同級生をお誘い合わせのうえ、関東蒲生会の総会・懇親会へ参加して下さい。一緒に大いに盛り上がりしたいと思います。

「よかにせどんに よかおごじよ、どうぞ おじゃったもんせ。」

「てこおどい」をユーチューブに投稿してありますのでご覧下さい。(「てこおどい」で検索)



関東蒲生会のホームページ

関東蒲生会のホームページ
をご覧ください。

全国の各地にお住まいの蒲生出身者、蒲生に縁の方々も自由に閲覧・投稿できます。

このホームページには総会・懇親会時の写真やその他にも色々投稿されております。

ホームページ

<http://www.kamoukai.com>

メールアドレス

office@kamoukai.com